



毎日徐々に寒くなり、雪も降って本格的な冬の到来となりそうです。風邪など気をつけてまいりましょう。さて臨床シミュレーションセンター（Clinical Simulation Center:以下 CSC）では入館システムの見直しを行い、今月から教職員やすべてのコメディカルが身分証明証で入館できるようになりました。「利用したいけど入れなかった」「CSCってどんなところ？」など興味のある方はぜひ見学にいらしてください。

今後みなさんにとって役に立つ、利用しやすい施設となるよう努めていきますので宜しくお願い致します。

CSCのインストラクター 奥野 先生

CSCのインストラクター 奥野先生に、シミュレータを活用した胸部聴診の学習について執筆いただきました。CSCでの自己学習や指導にとっても役立つ内容です。先生は医学生を中心に年間6～7回程度、不定期ですがハンズオンセミナーを行って下さっています。学生たちとシミュレータを囲み、和やかな雰囲気の中で様々な症例や聴診について丁寧に指導される様子が印象的です。

現在、奥野先生のハンズオンセミナーの案内は、教育センターの井上講師が行なっています。



CSCで行う胸部聴診について

臨床シミュレーションセンター インストラクター（ボランティア）
旭川医科大学名誉教授 奥野 晃正

診察は通常問診にはじまり、ついで視診・触診・聴診・打診で身体所見をとるのが原則です。私はこのうち胸部聴診(呼吸音と心音)の指導を担当しています。胸部の聴診は患者に正対して行うことになるので、良い人間関係を保つことが求められます。

CSCでは人形モデルを使って勉強します。呼吸音・心音の性質や強弱は部位によって異なるので、気道の走行や大動脈、肺動脈および弁の位置関係を再確認しておきましょう。呼吸音については吸気と呼気、気管音と肺泡音の聴き分け、つぎに水泡音、捻髪音、笛様音、いびき様音の性状を学びます。心音では大動脈、肺動脈、三尖弁、僧帽弁の各部位で第Ⅰ音と第Ⅱ音の強弱を聴き分けます。つぎに疾患モデルとして大動脈狭窄、僧帽弁閉鎖不全、肺動脈弁狭窄、心室中隔欠損、動脈管開存の心音を聴き、それぞれの雑音の最強点を探ります。以上の文章を読むと、聴診は難しいと感じるかも知れませんが、誰でも1時間で呼吸音・心音の一通りを経験できます。

Harrisonの内科書には第1章のphysical examinationの項に、患者を診察する(身体に触れる)ことは、患者とコミュニケーションをとる機会であり、同時に患者との間に信頼関係を築くことにもなるとの記述があります。丁寧な診察で正確な身体所見を得る技術を習得し、同時にコミュニケーション能力を磨くつもりで勉強しましょう。



ホームページを更新しました

CSCの詳しい利用方法や、取り扱うシミュレータのパンフレットを新たに掲載しました。HPからは予約状況を確認することも可能となっています。CSC学内ホームページより独自ページリンクをクリックすると見ることが出来ます。ぜひご活用ください。

セミナー・CSC体験企画のお知らせ

研修医ハンズオンセミナー

内容：CV カテーテル挿入・骨髄路確保の手技
★実物の物品とシミュレータで実際に実践できます。
日時：12月18日(火) 18時～1時間程度
対象：研修医 その他希望者
定員：12名(研修医が優先となります)
講師：藤田 智 先生、黒澤 温 先生 他
申込：CSCまでご連絡ください

救急救命センター、麻酔科蘇生科の先生が講師です。
 ぜひこの機会にお申込みください。

学生CSC探検ツアー

内容：CSCのシミュレータでどのようなことができるのかを知り、体験してみましょう。
日時：冬期休暇中の平日 8:30～17:15の間
 参加希望日時をお知らせください。
 所要時間は約30分程度の予定です。
対象：医学生・看護学生・その他希望者
定員：1名からでもOK
案内役：CSCスタッフ
申込：CSCまでご連絡ください。

実習前にスキルアップしたい等気軽にお申込下さい

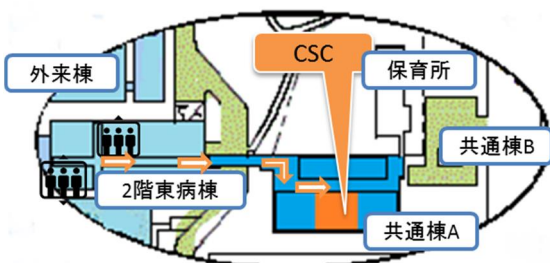


シミュレータの紹介 フィジコ (第2弾 最終回)

今号は、前号に引き続きフィジコの個別手技トレーニングモードでどのようなことができるかをご紹介します。

問診・コミュニケーション	肺音の聴診	眼の視診
無線マイクにより、模擬患者の応答をフィジコの口から発声させることができます。問診・コミュニケーションしながら患者状況を判断するトレーニングが可能です。 	気管支・上・下肺野での聴診が可能です。聴取位置と症例の理解が深まります。 	ペンライトを当て視診することにより、瞳孔の大きさ、測定、対光反射の確認が行えます。 
心音の聴診	血圧測定	腸音の聴診
各弁領域A(大動脈弁領域)・P(肺動脈弁領域)・T(三尖弁領域)・M(僧房弁領域)での聴診が可能です。聴診位置と症例の理解が深まります。 	症例や値を設定でき、心音に同調したコロトコフ音の変化の様子が確認できます。カフの巻き方や減圧のスピード・加圧の強度により警告がでます。 	腸蠕動音やイレウス・サビレウス・腸音・亢進・減弱の聴診が可能です。 
脈診	心電図シミュレーション	CSCにはフィジコ以外にもっとヒトに近い反応ができる患者シミュレータ(SimMan, HPS等)があります。 薬剤への反応を示したり、時間経過に合わせて状態を変化させたりと、あまりの高機能さに驚きです。 スタッフは現在SimManの操作を勉強中です。みなさんも体験してみませんか？
心音に同期した脈診ができます。左右頸動脈・橈骨動脈の脈診が可能です。 	電極を正しく装着する学習から、心電図の見方までの学習が可能です。鎖骨や肋骨の触診が出来ます。 	

出典：京都科 フィジコ製品パンフレット



【お問合せ先】

旭川医科大学 臨床シミュレーションセンター

連絡先：内線 2860 PHS：7580

E-mail：skillslab@asahikawa-med.ac.jp

スタッフ常駐時間：平日 8:30～17:15

学内ホームページからも独自ページリングしています

<http://www.asahikawa-med.ac.jp/simu/AMUSIMU/index.html>